

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	企画計画課長 持田 浩史	
共創-02	実施事業	ふるさと寄附金推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 企画計画課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針	行財政運営

1 事業の目的

対象	市民等
意図	ふるさと寄附金推進事業を円滑に実施するため。
効果	収入確保のみならず、本市が持つ自然環境、歴史、文化等多彩な魅力の発信により、活力ある鎌倉のまちづくりに資するとともに、本市に対する継続的な支持を得る。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ふるさと寄附金制度のPRを行った。 本市の魅力発信・地域振興に資する地域特産品を開拓した。 ふるさと寄附の申出を受けるとともに、希望する寄附者に向け、地域特産品を発送した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	世帯数	83,058世帯	
	事業の対象者数			事業の対象者数	
運営資源状況	決算値(千円)	199,621	338,825	当初予算(千円)	505,341
	国県支出金			国県支出金	
	地方債			地方債	
	その他	199,621	338,825	その他	505,341
	一般財源	0	0	一般財源	0
	人員配置数	2.2	2.2	人員配置数	3.0
事業経費運営	総事業費(千円)	219,360	358,364	総事業費(千円)	535,540
	市民1人当りの経費(円)	1,244	2031	市民1人当りの経費(円)	3,032
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)	
	人員配置数			人員配置数	3.0
	人件費(千円)	18,226	19,539	人件費(千円)	30,199
	人員配置数			人員配置数	3.0

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入
		△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済
		協働実施済の場合のパートナー 鎌倉市地域特産品（返礼品）を提供する連携事業者
事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直し <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
		見直し 寄附額の増加を図るため、新たなポータルサイトの開設や返礼品の新規開拓、広告などのプロモーション活動を更に充実させていく。 事業へ統合
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 寄附額の増加に伴い、歳入予算の増額を行うとともに、歳出予算についても、寄附に対する返礼品調達経費（寄附金額の3割）や事務手数料、送料のほか、決済手数料等の固定的な経費が増加となる。
	総評（評価に対する考え方、根拠等）	ふるさと寄附金は、本市のまちづくりの充実に向け、必要不可欠な財源確保の手法である。現在、ふるさと納税の市場規模は年々拡大傾向にあることから、新たなポータルサイトの開設や魅力ある返礼品の提供とプロモーションに注力するとともに、いただいた寄附金の活用状況を報告し、さらに多くの鎌倉ファンからの寄附金を募ることで、本市のまちづくりを充実させるための財源を確保していく必要がある。

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	国によるふるさと納税制度の改正に伴い、寄附金の募集に係る経費が寄附額の5割以内という上限が設けられたことから、広告やイベント等のプロモーションに要する経費について、媒体の取捨選択や費用対効果を勘案することで、最小経費で最大の効果が発揮できるよう事業を展開する必要があった。
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	最小経費で最大の効果を発揮するため、高額寄附者をターゲットとした広告展開やプロモーション活動を実施することで寄附単価の向上を図った。
未解決の課題、新たな課題とその理由	本市のふるさと寄附金ポータルサイトは「ふるさとチョイス」のみであることから、更なる寄附金獲得のために新たなポータルサイトを開設し窓口を増やすことが求められる。

- 解決
 一部解決
 未解決

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	令和元年度(2019年度)における寄附申出金額(千円) ※下段は、鎌倉市の寄附申出金額を100%としたときの各市の割合									
団体名	鎌倉市	南足柄市	厚木市	箱根町	海老名市	山北町	三浦市	小田原市	川崎市	
他市実績	743,443	2,473,126	1,147,315	1,023,727	846,373	701,072	626,929	379,241	371,247	
	100.0%	332.7%	154.3%	137.7%	113.8%	94.3%	84.3%	51.0%	49.9%	

比較事項	ポータルサイト「ふるさとチョイス」掲載の返礼品数(令和2年7月末現在) ※下段は、鎌倉市の返礼品数を100%としたときの各市の割合									
団体名	鎌倉市	大井町	厚木市	小田原市	横須賀市	三浦市	伊勢原市	中井町	秦野市	
他市実績	479	318	347	422	228	270	201	148	234	
	100.0%	66.4%	72.4%	88.1%	47.6%	56.4%	42.0%	30.9%	48.9%	

比較事項	ふるさと寄附金の選べる使途の数 ※下段は、鎌倉市の使途の数を100%としたときの各市の割合									
団体名	鎌倉市	川崎市	横浜市	逗子市	厚木市	大和市	茅ヶ崎市	横須賀市	相模原市	
他市実績	23	7	27	23	20	17	17	15	12	
	100.0%	30.4%	117.4%	100.0%	87.0%	73.9%	73.9%	65.2%	52.2%	

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	本市の寄附申出金額については、神奈川県内において、5位となっており、プロモーションの充実や寄附金を活用した事業の報告等により年々着実に増加している。また、返礼品数についても県内で最も多く、本市の多彩な地域資源の掘り起こしにより、寄附者へ魅力的な返礼品を提供するとともに、地域産業の振興に寄与している。さらに、使途の数についても県内でも高い水準にあり、寄附者の意向に沿ったまちづくりの充実に向けて、細やかに対応している。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	寄附申出金額	単位	千円	指標の傾向	↗	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
より一層の歳入確保を図る上で、明確な指標となるため	目標値	-	3,000	194,000	260,000	300,000	470,000
	実績値	-	123,300	175,016	260,424	424,391	743,443
	達成率	-	4110.0%	90.2%	100.2%	141.5%	158.2%

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	当該事業の実施により、本市に対するふるさと寄附金額が増加することは、今後の本市のまちづくりの充実のための活用できる財源の確保に資するものである。
-----------------------	--